

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	にじのいろ	事業所番号	0210201414
住 所	青森県北津軽郡板柳町大字横沢字東宮元12-12	管理者名	白川 恵
電話番号	0172-55-6682	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 青森県弘前市種市高木152-4 金田農園 様 実施日程 6月5日～11月15日 A M9:00～P M15:00 (休憩60分) 実施概要 摘果、葉取り、玉回し、収穫、反射シート敷設撤去 利用者数 等 3人～4人	<活動の様子> 活動の様子   摘果作業 収穫作業 ・摘果作業は、未経験作業であったが、脚立の扱いの慣れもあり、残す実を理解できた後にはスタッフの確認作業も減少していった。 ・葉取り作業は、昨年経験済みもあり、スタッフチェックでも、再指導の必要性大幅に減少。 ・リンゴの玉回し作業は、どの向きにすべきかを理解できており、落とす確率が大幅に減少。 ・収穫作業は、収穫用籠を持って農家さんに負い位の作業状況。 ・収穫時は、他の作業員の方からいっぱいになった籠を受け取り、新しい籠を渡すなど、コミュニケーションの向上も見られた。
<目的> ・昨年に引き続きリンゴ作業を行うことによってさらなるレベルアップを目指す。 それによって、人手不足に悩むリンゴ農家にとって障がい者が必要不可欠な存在となるよう、技術を習得することを着地点とする。	
<成果> ・昨年経験済みの作業においては、それぞれの作業確認のみで完了できる木の数が多かった。 ・昨年よりも作業時間を1時間多くしたが、体力的にも、問題なし。むしろ、脚立の掛ける位置の的確さと上り下りのスピードがアップ。よって、作業効率もアップ。	

連携先の企業等の意見または評価

2年目ということもあり、他の作業員とのコミュニケーションも上手くできるようになったためか、収穫時にはお互いに声を掛け合いながら作業をしていたため、作業効率が数段アップ。今年は、雪が降るのが早かったためとても助かった。また、体力向上によって、作業時間を長くしてもらったため、お願いできる作業も増えたことも良かった。 農家サイドとして気を付けたことは、曖昧な言い回しではなく、例えば摘果の時は、「大きい実を残す」など分かりやすい言葉にして伝えることと、少しのことでも、とにかく褒めるようにして自信を付けてもらうことに重点を置いた。また、収穫以外は、スタッフにチェック等を任せて、家族や他の作業員とは、別の一定の区画でのびのびと作業をしてもらったことも自信の向上と作業効率のアップに繋がったと感じている。			
連携先企業名	金田農園	担当者名	金田 弥